



みんなの心が通い、 一人一人が輝く南秋留小学校 ～教育の受益者は子供・保護者・地域～



1 学力向上

すべての児童が、学びの楽しさを
味わえるよう、教職員一丸となって
授業改善に取り組んでいます。

重点的に取り組んでいる南秋留小学校の3つの課題



2 体力向上・健康増進

すべての児童が、運動に親しみ、健康で
いられるよう、オリンピック・パラリンピック
教育を通じて体力向上に取り組んでいます。



3 特別支援教育の推進

すべての児童が、個に応じた指導が可能な
限り受けられるよう、校内体制を整え、専門
家と連携し、組織的に取り組んでいます。

平成29年10月
あきる野市立南秋留小学校

1 学力向上

(1) 南秋留小学校の学力等の現状

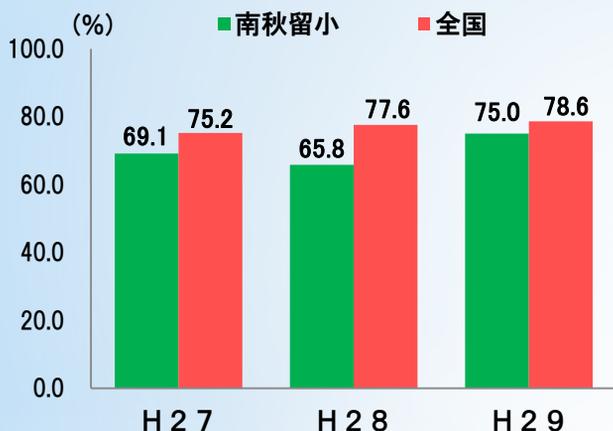
(※ 1 全国学力・学習状況調査の一部より)

※ 1 全国学力・学習状況調査

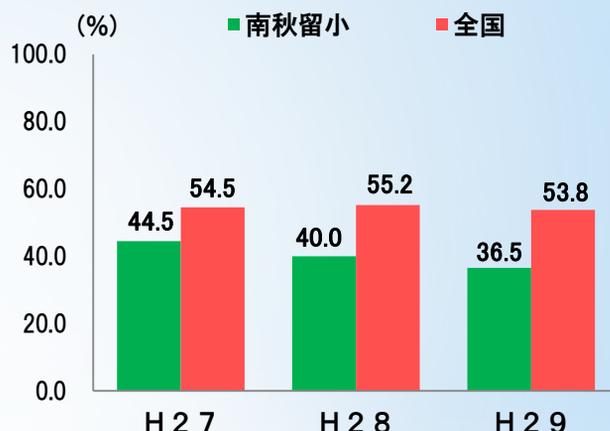
文部科学省が、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証するために、平成19年度より日本全国の小・中学校の最高学年（小6、中3）全員を対象としている調査で、今年度は、4月18日（火）に実施しました。

6年生の児童は、国語と算数のA問題（主に知識）とB問題（主に活用）、質問紙調査を受けました。

本校の算数A（主に知識）の平均正答率



家で学校の授業の復習をしていると思う。



上記左側のグラフを見ると、本校の児童の学力の現状は、全国の平均正答率を毎年下回っている状況です。また、上記右側のグラフを見ると、「家で学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合は、全国の平均より下回っている状況です。

このことを踏まえて、学校では、教員の授業力の更なる向上とともに、授業以外の学習補償及び人的補償等の充実が課題であると捉えています。

また、学校は家庭と密に連携し、家庭での学習状況を把握するとともに、宿題や復習等の家庭学習が充実するよう、取組の工夫が必要であると考えています。



(2) 学力向上を図る主な取組

教員補助員の活用



授業内で個に応じた指導及び支援が充実するよう、4名の教員補助員を活用しています。

解答に至るまでの考え方を丁寧に助言し、児童の学習意欲を高めています。

補習の時間の設定



昼休み後、放課後の時間を活用して、全学年で補習の時間を設定しています。

授業で分からなかった所や質問したい所など、再度、担任の先生と一緒に学習に取り組みます。

すべての児童にとって分かりやすい授業（ユニバーサルデザインを取り入れた授業）を目指しています。

机上の整理や分かりやすい板書等、児童が安心して学習に取り組めるよう、環境整備を徹底しています。

ユニバーサルデザインを取り入れた授業



2 体力向上・健康増進

※2 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査
東京都教育委員会が、東京都の児童・生徒の体力・運動能力及び生活・運動習慣等の実態を把握・分析し、施策の成果と課題を検証するために、平成23年度より都内公立学校の全児童・生徒を対象としている調査で、毎年6月に実施しています。

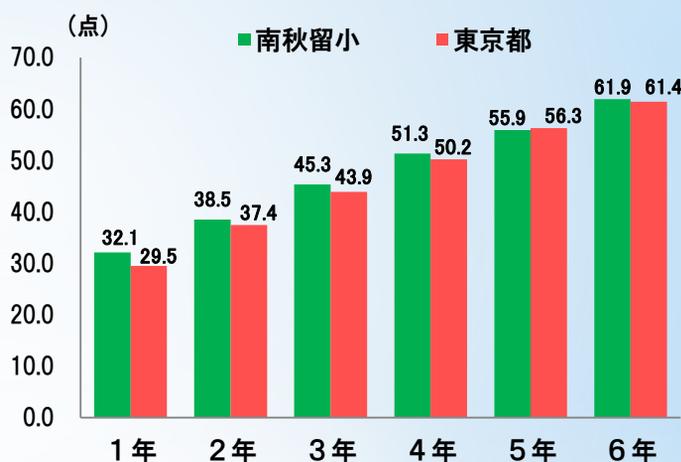
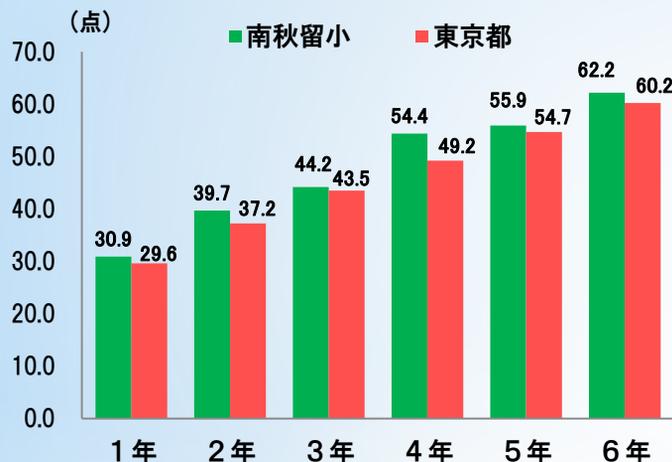
児童は、8種目（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ）の調査を受けました。

(1) 南秋留小学校の体力の現状

（※2 平成29年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の一部より）

※3 男子の体力合計点

※3 女子の体力合計点



※3 体力合計点とは、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げの8種目の結果をそれぞれ10段階で評価し得点化したもの

上記のグラフを見ると、本校の児童の体力の現状は、ほとんどの学年男女で、東京都の体力合計点を上回っている状況です。

このことを踏まえて、学校は、さらなる体力向上・健康増進に向けて、各学級における体育の授業改善を図るとともに、オリンピック・パラリンピック教育の推進、体育的行事（市のスポーツ行事を含めて）の充実、食育の推進等が課題であると捉えています。



(2) オリンピック・パラリンピック教育を通じた取組



拓殖大学陸上競技部員
による走り方教室



オリンピック・パラリンピック教育を推進し、アスリート等との直接的な交流を通して、児童の運動やスポーツへの関心・親しみを高めていきます。



あきる野ラグビースクール
の指導者によるタグラグビー教室

(3) 校内の体育的行事の充実

運動会の様子



運動会において、高学年紅白リレーに力を入れるとともに、徒競走や団体種目など、各自で進めている体力向上の成果を発揮する場を学年ごとに設定し、全児童のがんばりを保護者・地域とともに評価しています。

体力テストの充実



体力テストにおいて、各種目男女別1位の児童に賞状を授与するとともに、上位5位までの優秀者の記録を校内に掲示し、児童のがんばりを評価しています。

(4) 体育・保健の授業の工夫

体育の授業改善



掲示物等を活用することで、説明する内容を極力減らし、運動量を確保しています。

また、本時のめあてを達成するために、技能ポイントを提示し、友達と対話的な活動を取り入れ、学びを深めています。

あきる野市子どもすもう大会



市主催のスポーツ行事にPTAと連携して積極的に参加しています。平成29年度のあきる野市子どもすもう大会においては、団体戦優勝と個人戦においては9名の児童が1位から3位までに入り、表彰されました。

栄養士を招いた食育の授業



食に関する正しい知識を習得し、生涯にわたって望ましい食習慣を身に付けられるよう、毎年、給食センターの栄養士を招いたり、米や野菜の栽培活動をしたりするなど、食育の授業を大切にしています。

3 特別支援教育の推進

(1) 特別支援教育の捉え方

児童は一人一人違った個性をもっています。字を書くのが苦手な子、体を動かすのが苦手な子、友達と関わるのが苦手な子など、学校での学習や集団生活における困難さは、だれもが感じているものであり、それぞれ違っているものです。

学校では、児童一人一人が感じている困難さを的確に把握し、可能な限り支援していくことを特別支援教育と捉えています。



(2) 学校組織体制で推進する特別支援教育（学校相談体制の充実）



保護者の方へ

本校では、すべての児童が安心して学校生活を送るためには、学校相談体制の充実を図り、学校と保護者、教育委員会、専門家等の関係機関との情報共有・連携が何よりも重要と考えています。

保護者からいただいた相談については、教育委員会や専門家等と連携しながら校内委員会で協議し、丁寧に対応することに努めています。

お子さんのことで悩んだり、不安なことがあったりした際には、遠慮なく学校まで相談してください。

※学校の電話番号 (042-558-1136)

校舎の西側階段を3階まで上ると、教育相談室があります。教育相談室は、すべての児童・保護者が利用できます。学校生活で悩んでいること、困っていることなどを、心理の専門家であるスクールカウンセラーが親身になって無料で相談を受けます。

スクールカウンセラーは、毎週木曜日に出勤します。保護者の方で活用を希望する人は、担任や管理職まで気軽に御連絡ください。



3階にある教育相談室
「さわやか相談室」

南秋留小学校Q&A

(1) 子供のことで相談したいときは、どうすればよいですか。

南秋留小学校の全教職員は、子供一人一人のことを大切に考えています。お子さんのことで不安なこと、困っていることがありましたら、遠慮なく担任の先生に相談してください。

また、学校では担任の先生だけではなく、学校体制で対応していくために、学校相談窓口を設置しています。学校管理職（校長・副校長）及び特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー等が窓口になって、丁寧な対応を心がけています。

相談窓口



※平成29年度の学校相談窓口担当者

- ・学校管理職：(遠藤校長、江原副校長)
- ・特別支援教育コーディネーター：尾又(6-1)、遠藤康(1-1)、橋本(2-1)、高橋(養護)
- ・スクールカウンセラー：小倉(木曜日のみ勤務)

※学校相談窓口連絡先 042-558-1136 (午前8時15分から午後4時45分まで)

(2) 学校の様子を知るには、どうすればよいですか。

南秋留小学校は、年3回の学校公開と年4回の保護者会、個人面談、運動会、学芸行事（平成29年度は展覧会）、道徳授業地区公開講座等を実施して、保護者・地域の参画を得て、教育力を高めています。

また、情報の効果的な提供を保護者・地域に行うために、学校ホームページの作成や学校便り、学年便り、学級便り、専科便り等を定期的に発信するとともに、校長ブログを毎日更新して、南秋留小学校の子供たちの様子を伝えています。

※校長ブログ「生き生き南秋留小」

<http://blog.livedoor.jp/minamiakirusho/>



(3) 児童の登下校時における安全・安心について、どのような対策をとっていますか。

南秋留小学校は、児童の安全・安心を第一に考えています。

児童の登下校については、市のシルバー人材センターから派遣されている11名の交通誘導員の他に、町内会で組織されている学校安全ボランティアの方々によって、毎日登下校時の見守りを行っています。

また、青少健及びPTAと連携して、長期休業中の放課後の見回りや防犯カメラ等の設置要望を市に働きかけています。

さらに、警察と連携してセーフティ教室を実施し、参加者で安全に関わることについての意見交換を行っています。



(4) いじめについて、どのような対策をとっていますか。

南秋留小学校の全教職員は、いじめはいつでも起こりうるものとして常にアンテナを立て、未然防止・早期発見に努めています。気になる情報があがった際には、速やかに学校いじめ対策会議を開き、全教職員との情報共有、保護者との連携等について丁寧に進めています。

年3回(6・11・2月)、全児童対象の学校生活アンケートの実施及び5年生対象のスクールカウンセラーとの全員面接の実施等により、学校組織を生かした計画的な取組を通して、いじめの撲滅を目指しています。

